

第 41 回国民文化祭
第 26 回全国障害者芸術・文化祭

基本構想
(案)

令和 6 年 月

高 知 県

1 基本的な考え方

(1) 開催意義

高知県は、輝く太陽のもと、黒潮が打ち寄せる変化に富んだ海岸線をはじめ、四万十川、仁淀川に代表される清流や緑深い山々など、美しく豊かな自然に恵まれています。こうした風土が自由で豪快な気風や大らかな中にも芯の通った気質と行動力に富む県民性を育んできました。

そして、それぞれの地域では、古くから伝わる「神楽」などの無形文化財をはじめとする伝統芸能、「皿鉢料理」に代表される食文化、平安時代から脈々と引き継がれてきた「遍路文化」、「土佐和紙」「土佐打刃物」といった伝統工芸、変化を続けながら発展してきた「よさこい」、著名な漫画家を多く輩出した「まんが文化」など、特色ある文化、芸術を今に伝え、発展させてきました。

こうした文化や芸術は、私たちの暮らしや人生を豊かにし、多くの人の心の支えとなってきました。文化や芸術を大切にし、次の世代に受け継いでいくことは、県民の誇りや生きがいにつながり、さらには地域の活性化にもつながっていきます。

しかしながら、近年では、少子・高齢化と過疎化の進展に伴い「担い手」が不足し、次の世代への伝承が危ぶまれる伝統芸能も少なくありません。

このような中、本県において国民文化祭を開催することは、県民一人一人が本県の文化の価値を再認識し、そして、文化芸術活動により一層親しむ絶好の機会となります。

また、本県では、障害のある人もない人も、ともに支え合い、安心していきいきと暮らせる共生社会の実現を目指しています。全国障害者芸術・文化祭の開催は、障害のある人の生きがいや生活の質の向上につながるとともに、地域の人々との相互理解をより一層深める契機となります。

全国から注目を集めるこの大会をきっかけとして、本県における文化芸術のさらなる振興と、中山間地域などに残る伝統芸能の再興につなげ、本県が掲げる「文化芸術の力で心豊かに暮らせる高知県」の実現を目指していきます。

(2) 基本方針

① 県民の総力を結集した文化の祭典

地域の特色を生かした多彩なイベントを県内全域で展開し、若者や高齢者、障害のある人などすべての県民が主体的に参画する文化の祭典とします。

② 特色ある文化芸術を全国に発信

豊かな山・川・海の幸に恵まれ発展してきた食文化、「土佐和紙」「土佐打刃物」といった伝統工芸、今では海外にも広がりを見せている「よさこい」や「まんが」など、特色ある文化や芸術を全国に発信します。

③ 中山間地域に伝わる伝統芸能の再興・継承

少子・高齢化と過疎化の進展に伴い、担い手が不足し、存続の危機にある「神楽」などの伝統芸能を再興し、絶やすことなく次の世代に継承する契機とします。

④ 国民文化祭を契機とした観光の推進

本県ならではの特色ある文化資源を生かしたイベントや体験型・参加型プログラムなどを、観光施策と連動して展開し、国内外から多くの観光客を呼び込み、地域の活性化につなげていきます。

⑤ 文化芸術を通じた相互理解の促進

障害のある人とない人が文化芸術活動を通じて、交流し、喜びを分かち合い、感動を共有することで、相互理解をより一層深める契機とします。

2 開催概要

(1) 名称

①正式名称

第41回国民文化祭

第26回全国障害者芸術・文化祭

＜文化庁・厚生労働省が示す開催要綱より＞

・文化祭の正式名称は、「第〇回国民文化祭」とする。

・芸術・文化祭の正式名称は、「第〇回全国障害者芸術・文化祭」とする。

②統一名称

(本委員会で協議) → 資料5

(2) キャッチフレーズ

〔 令和6年度上半期に公募により候補作品を募集し、公募審査会において
選定・決定 〕

(3) 主催者

文化庁、厚生労働省、高知県、高知県実行委員会、県内市町村、市町村実行委員会、文化関係団体、障害者関係団体 等

(4) 会期

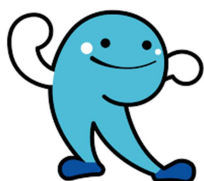
〔 会期は、県や市町村等が実施する事業が決定した後、確定することから
(令和6年度中)、基本構想の策定段階では大まかな日数を記載(先催県
も同様)。
→「2026年(令和8年)10月から11月までの間で40日間程度」 〕

(5) 会場

〔 ・開会式会場等は検討中。
・次回の会議でお示しする予定。 〕

(6) マスコットキャラクター

〔 県民に定着している高知県のイメージキャラクター「くろしおくん」を、
大会用にアレンジして使用予定。 〕



- ・1997年(H9年)、21世紀に向けて、県民の力の結集と全国への本県のイメージアップのため、元気な高知県のシンボルとなるイメージキャラクターとして誕生。
- ・1999年(H11年)、よさこい高知国体のマスコットに採用。

(7) ロゴマーク

〔 令和6年度上半期に公募により候補作品を募集し、公募審査会において
選定・決定 〕

3 開催準備計画

(今後の大まかなスケジュールを記載)

年度	内容
2024年度 (令和6年度)	<ul style="list-style-type: none">○県実行委員会の設置○県実行委員会による基本構想(案)の決定○国実行委員会による基本構想の決定○県実行委員会企画会議の設置○市町村実行委員会の設置○キャッチフレーズ・ロゴマークの公募・決定○各種広報・啓発の実施○実施計画(案)の策定
2025年度 (令和7年度)	<ul style="list-style-type: none">○県実行委員会による実施計画(案)の決定○国実行委員会による実施計画の決定○開催要項、募集要項の作成、配布○各都道府県に出演者・団体の推薦依頼○各種広報・啓発の実施○長崎県大会閉会式における引継式への出席、 次期開催県アトラクションの実施
2026年度 (令和8年度)	<ul style="list-style-type: none">○各種広報・啓発の実施○出演者・団体の決定○協賛事業、応援事業の実施○第41回国民文化祭/第26回全国障害者芸術・文化祭 の開催○実施報告書、公式記録の作成○県実行委員会、市町村実行委員会の解散